



障害およびログの表示

この章は、次の項で構成されています。

- [障害サマリー \(1 ページ\)](#)
- [障害履歴 \(3 ページ\)](#)
- [Cisco IMC ログ \(5 ページ\)](#)
- [システム イベント ログ \(8 ページ\)](#)
- [ロギング制御 \(10 ページ\)](#)

障害サマリー

障害サマリートの表示

手順

- ステップ 1 [Navigation] ペインの [Chassis] メニューをクリックします。
- ステップ 2 [Chassis] メニューで、[Faults and Logs] をクリックします。
- ステップ 3 [Faults Summary] タブで、次の情報を確認します。

表 1: [Actions] 領域

名前	説明
[Total]	[Fault Entries] テーブルの合計行数を表示します。
[Column] ドロップダウン リスト	表示する列を選択できます。

名前	説明
[Show] ドロップダウン リスト	<p>フィルタを使用して障害のエントリを表示する方法をカスタマイズします。これらの内容は次のとおりです。</p> <ul style="list-style-type: none"> • [Quick Filter] : デフォルト ビュー。 • [Advanced Filter] : 1 つ以上の条件に基づき障害のエントリを表示するフィルタ オプション。一致するルールを使用して、すべてのルールまたは [Filter] フィールドで指定したルールの任意の組み合わせに一致するエントリを表示できます。 <p>設定したフィルタ条件に一致するエントリを表示するには、[Go] をクリックします。</p> <p>設定したフィルタ条件を保存するには、[Save] アイコンをクリックします。これはユーザ定義のフィルタになり、後で使用できます。</p> <p>(注) ユーザ定義のフィルタは、 [Manage Preset Filters] ダイアログボックスに表示されます。</p> <ul style="list-style-type: none"> • [All] : すべてのエントリを表示します。 • [Manage Preset Filters] : ユーザ定義のフィルタを表示します。このダイアログボックスからユーザ定義のフィルタを編集または削除できます。 • [List of pre-defined filters] : システム定義のフィルタを表示します。 <p>(注) [Filter] アイコンを使用して、フィルタフィールドを非表示または非表示解除できます。</p>

表 2: [Fault Entries] 領域

名前	説明
[Time]	障害が発生した時刻。

名前	説明
[Severity]	次のいずれかになります。 <ul style="list-style-type: none">• [Cleared] : ある障害または状態が解消されました。• [Critical]• [Info]• [Major]• [Minor]• 警告
[Code]	障害に割り当てられた固有識別情報。
[DN]	識別名 (DN) は、サーバ上でのデバイスのエンドポイントおよびそのインスタンスの階層表現です。
[Probable Cause]	障害の原因となったイベントに関連付けられた固有識別情報。
[Description]	障害についての詳細情報。 提案される解決策も含まれます。

障害履歴

障害履歴の表示

手順

- ステップ 1 [Navigation] ペインの [Chassis] メニューをクリックします。
- ステップ 2 [Chassis] メニューで、[Faults and Logs] をクリックします。
- ステップ 3 [Faults History] タブで、次の情報を確認します。

表 3: [Actions] 領域

名前	説明
[Total]	[Fault History] テーブルの合計行数を表示します。
[Column] ドロップダウン リスト	表示する列を選択できます。
[Show] ドロップダウン リスト	<p>フィルタを使用して障害履歴エントリを表示する方法をカスタマイズします。これらの内容は次のとおりです。</p> <ul style="list-style-type: none"> • [Quick Filter] : デフォルト ビュー。 • [Advanced Filter] : 1つ以上の条件に基づきエントリを表示するフィルタ オプション。一致するルールを使用して、すべてのルールまたは [Filter] フィールドで指定したルールの任意の組み合わせに一致するエントリを表示できます。 <p>設定したフィルタ条件に一致するエントリを表示するには、[Go] をクリックします。</p> <p>設定したフィルタ条件を保存するには、[Save] アイコンをクリックします。これはユーザ定義のフィルタになり、後で使用できます。</p> <p>(注) ユーザ定義のフィルタは、 [Manage Preset Filters] ダイアログボックスに表示されます。</p> <ul style="list-style-type: none"> • [All] : すべてのエントリを表示します。 • [Manage Preset Filters] : ユーザ定義のフィルタを表示します。このダイアログボックスからユーザ定義のフィルタを編集または削除できます。 • [List of pre-defined filters] : システム定義のフィルタを表示します。 <p>(注) [Filter] アイコンを使用して、フィルタフィールドを非表示または非表示解除できます。</p>

表 4 : [Faults History] 領域

名前	説明
[Time]	障害が発生した時刻。
[Severity]	次のいずれかになります。 <ul style="list-style-type: none"> • [Emergency] • [Alert] • [Critical] • [Error] • 警告 • [Notice] • [Informational] • [Debug]
[Source]	イベントをログに記録したソフトウェアモジュール。
[Probable Cause]	障害の原因となったイベントに関連付けられた固有識別情報。
[Description]	障害についての詳細情報。 提案される解決策も含まれます。

次のタスク

Cisco IMC ログ

Cisco IMC ログの表示

手順

- ステップ 1 [Navigation] ペインの [Chassis] メニューをクリックします。
- ステップ 2 [Chassis] メニューで、[Faults and Logs] をクリックします。
- ステップ 3 [Cisco IMC Log] タブで、次の情報を確認します。

表 5: [Actions] 領域

名前	説明
[Clear Log] ボタン	すべてのログ ファイルを消去します。 (注) このオプションは、ユーザ ID に admin または user ユーザ ロールが割り当てられている場合のみ使用できます。
[Total]	[Cisco IMC Log] テーブルの合計行数を表示します。
[Column] ドロップダウン リスト	表示する列を選択できます。

名前	説明
<p>[Show] ドロップダウン リスト</p>	<p>フィルタを使用して Cisco IMC ログ エントリを表示する方法をカスタマイズします。これらの内容は次のとおりです。</p> <ul style="list-style-type: none"> • [Quick Filter] : デフォルト ビュー。 • [Advanced Filter] : 1 つ以上の条件に基づきログ エントリを表示するフィルタ オプション。一致するルールを使用して、すべてのルールまたは [Filter] フィールドで指定したルールの任意の組み合わせに一致するエントリを表示できます。 <p>設定したフィルタ条件に一致するエントリを表示するには、[Go] をクリックします。</p> <p>設定したフィルタ条件を保存するには、[Save] アイコンをクリックします。これはユーザ定義のフィルタになり、後で使用できます。</p> <p>(注) ユーザ定義のフィルタは、 [Manage Preset Filters] ダイアログボックスに表示されます。</p> <ul style="list-style-type: none"> • [All] : すべてのエントリを表示します。 • [Manage Preset Filters] : ユーザ定義のフィルタを表示します。このダイアログボックスからユーザ定義のフィルタを編集または削除できます。 • [List of pre-defined filters] : システム定義のフィルタを表示します。 <p>(注) [Filter] アイコンを使用して、フィルタフィールドを非表示または非表示解除できます。</p>

表 6 : [Cisco IMC Log] テーブル

名前	説明
[Time] カラム	イベントが発生した日時。

名前	説明
[Severity] カラム	イベントの重大度。次のいずれかになります。 <ul style="list-style-type: none"> • [Emergency] • [Alert] • [Critical] • [Error] • 警告 • [Notice] • [Informational] • [Debug]
[Source] カラム	イベントをログに記録したソフトウェア モジュール。
[Description] カラム	イベントの説明。

システム イベント ログ

システム イベント ログの表示

手順

- ステップ 1 [Navigation] ペインの [Chassis] メニューをクリックします。
- ステップ 2 [Chassis] メニューで、[Faults and Logs] をクリックします。
- ステップ 3 [System Event Log] タブで、次の情報を確認します。

表 7: [Actions] 領域

名前	説明
[Clear Log] ボタン	ログ ファイルからすべてのイベントをクリアします。 (注) このオプションは、ユーザ ID に admin または user ユーザ ロールが割り当てられている場合のみ使用できます。

名前	説明
[Total]	[System Event Log] テーブルの合計行数を表示します。
[Column] ドロップダウン リスト	表示する列を選択できます。
[Show] ドロップダウン リスト	<p>フィルタを使用してイベントを表示する方法をカスタマイズします。これらの内容は次のとおりです。</p> <ul style="list-style-type: none"> • [Quick Filter] : デフォルト ビュー。 • [Advanced Filter] : 1 つ以上の条件に基づきイベントを表示するフィルタ オプション。一致するルールを使用して、すべてのルールまたは [Filter] フィールドで指定したルールの任意の組み合わせに一致するエントリを表示できます。 <p>設定したフィルタ条件に一致するエントリを表示するには、[Go] をクリックします。</p> <p>設定したフィルタ条件を保存するには、[Save] アイコンをクリックします。これはユーザ定義のフィルタになり、後で使用できます。</p> <p>(注) ユーザ定義のフィルタは、 [Manage Preset Filters] ダイアログボックスに表示されます。</p> <ul style="list-style-type: none"> • [All] : すべてのエントリを表示します。 • [Manage Preset Filters] : ユーザ定義のフィルタを表示します。このダイアログボックスからユーザ定義のフィルタを編集または削除できます。 • [List of pre-defined filters] : システム定義のフィルタを表示します。 <p>(注) [Filter] アイコンを使用して、フィルタフィールドを非表示または非表示解除できます。</p>

表 8: [System Event Log] テーブル

名前	説明
[Time] カラム	イベントが発生した日時。
[Severity] カラム	重大度フィールドには、テキストと色分けされたアイコンの両方が含まれます。アイコンについては、緑色は通常動作、黄色は情報を示し、警告、クリティカルおよび回復不能なエラーは赤色で表示されます。
[Description] カラム	イベントの説明。

ロギング制御

ロギング制御の表示

手順

- ステップ 1 [Navigation] ペインの [Chassis] メニューをクリックします。
- ステップ 2 [Chassis] メニューで、[Faults and Logs] をクリックします。
- ステップ 3 [Logging Controls] タブで、次の情報を確認します。

リモート ロギング

名前	説明
[Enabled] チェックボックス	オンにすると、Cisco IMC は [IP Address] フィールドで指定された Syslog サーバにログ メッセージを送信します。
[Host Name/IP Address] フィールド	Cisco IMC ログが保存される Syslog サーバのアドレス。リモート システムのアドレスとして IPv4 または IPv6 アドレスまたはドメイン名を設定できます。
[Port] フィールド	1 ~ 65535 の範囲内の Syslog サーバの宛先ポート番号を入力します。デフォルトのポート番号は 514 です。

名前	説明
[Minimum Severity to Report] フィールド	<p>リモート ログに含まれるメッセージの最低レベルを指定します。次のいずれかを選択できます。</p> <ul style="list-style-type: none"> • [Emergency] • [Alert] • [Critical] • [Error] • 警告 • [Notice] • [Informational] • [Debug]

(注) Cisco IMC では、選択した重大度よりも低い重大度のメッセージはリモートでログに記録されません。たとえば、[Error] を選択した場合、Cisco IMC リモート ログには重大度が [Emergency]、[Alert]、[Critical]、[Error] のすべてのメッセージが含まれます。[Warning]、[Notice]、[Informational]、[Debug] のメッセージは表示されません。

Local Logging

この領域には、上記の表に示すように [Minimum Severity to Report] ドロップダウンリストのみが表示されます。ローカル ログに含めるメッセージの最低レベルを指定できます。

次のタスク

リモートサーバへの Cisco IMC ログの送信

Cisco IMC ログ エントリを受信するように 1 台または 2 台のリモート syslog サーバのプロファイルを設定できます。

始める前に

- リモート syslog サーバが、リモート ホストからログを受信するように設定されている必要があります。
- リモート syslog サーバが、認証関連のログを含め、すべてのタイプのログを受信するように設定されている必要があります。
- リモート syslog サーバのファイアウォールが、syslog メッセージが syslog サーバに到達するように設定されている必要があります。

手順

ステップ 1 [Navigation] ペインの [Chassis] メニューをクリックします。

ステップ 2 [Chassis] メニューで、[Faults and Logs] をクリックします。

ステップ 3 [Remote Syslog Server] 領域のいずれかで、次のフィールドに値を入力します。

名前	説明
[Enabled] チェックボックス	オンにすると、Cisco IMC は [IP Address] フィールドで指定された Syslog サーバにログメッセージを送信します。
[Host Name/IP Address] フィールド	Cisco IMC ログが保存される Syslog サーバのアドレス。リモートシステムのアドレスとして IPv4 または IPv6 アドレスまたはドメイン名を設定できます。
[Port] フィールド	1 ~ 65535 の範囲内の Syslog サーバの宛先ポート番号を入力します。デフォルトのポート番号は 514 です。

ステップ 4 (任意) [Minimum Severity to Report] ドロップダウンリストで、リモートログに含まれるメッセージの最低レベルを指定します。

次のいずれかを選択できます。重大度の高いものから順に並んでいます。

- [Emergency]
- [Alert]
- [Critical]
- [Error]
- 警告
- [Notice]
- [Informational]
- [Debug]

(注) Cisco IMC では、選択した重大度よりも低い重大度のメッセージは、リモートでログに記録されません。たとえば、[Error] を選択した場合、Cisco IMC リモートログには重大度が Emergency、Alert、Critical、または Error のすべてのメッセージが含まれます。Warning、Notice、Informational、または Debug のメッセージは表示されません。

ステップ 5 [Save Changes] をクリックします。

Cisco IMC ログしきい値の設定

始める前に

手順

-
- ステップ 1** [Navigation] ペインの [Chassis] メニューをクリックします。
- ステップ 2** [Chassis] メニューで、[Faults and Logs] をクリックします。
- ステップ 3** 必須: [Local Logging] 領域で、[Minimum Severity to Report] ドロップダウン リストを使用して、Cisco IMC ログに含まれるメッセージの最低レベルを指定します。

次のいずれかを選択できます。重大度の高いものから順に並んでいます。

- [Emergency]
- [Alert]
- [Critical]
- [Error]
- 警告
- [Notice]
- [Informational]
- [Debug]

(注) Cisco IMC では、選択した重大度よりも低い重大度のメッセージはログに記録されません。たとえば、[Error] を選択した場合、Cisco IMC ログには重大度が Emergency、Alert、Critical、または Error のすべてのメッセージが含まれます。Warning、Notice、Informational、または Debug のメッセージは表示されません。

リモート サーバへのテスト Cisco IMC ログの送信

始める前に

- リモート syslog サーバが、リモート ホストからログを受信するように設定されている必要があります。
- リモート syslog サーバが、認証関連のログを含め、すべてのタイプのログを受信するように設定されている必要があります。
- リモート syslog サーバのファイアウォールが、syslog メッセージが syslog サーバに到達するように設定されている必要があります。

手順

- ステップ 1 [Navigation] ペインの [Chassis] メニューをクリックします。
 - ステップ 2 [Chassis] メニューで、[Faults and Logs] をクリックします。
 - ステップ 3 [Faults and Logs] ペインの [Logging Controls] タブをクリックします。
 - ステップ 4 [Action] 領域の [Send Test Syslog] をクリックします。
設定されているリモート サーバにテスト Cisco IMC ログが送信されます。
-